

## 瀬戸内海の漁業

瀬戸内海は古来より豊かな海の幸に恵まれ、沿岸漁業の先進地として多様な漁業形態が発達しており、特に海面養殖業及び栽培漁業については、その発祥の地として極めて重要な役割を果たしています。我が国における海面漁業生産額の約1/5を占める当事務所管内の漁業の一層の進展を図ることは、水産業の健全な発展を図る上で重要な課題となっています。

### ○瀬戸内海の漁業の位置付け(平成22年)

	全国	瀬戸内海漁業調整事務所管内計	シェア	瀬戸内海区	シェア	太平洋南区(宮崎県を除く)	シェア
海面漁業生産量(百トン)	52,323	7,239	13.8%	4,376	8.4%	2,863	5.5%
漁業	41,210	3,536	8.6%	1,758	4.3%	1,778	4.3%
養殖業	11,113	3,703	33.3%	2,618	23.6%	1,085	9.8%
海面漁業生産額(億円)	13,993	3,049	21.8%	1,433	10.2%	1,616	11.5%
漁業	9,709	1,418	14.6%	826	8.5%	592	6.1%
養殖業	4,284	1,631	38.1%	607	14.2%	1,024	23.9%

資料:『平成22年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省

注1 表示単位未満は四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

注2 「瀬戸内漁業調整事務所管内計」のデータは、瀬戸内海区及び太平洋南区(宮崎県を除く)の海域の漁獲実績を合計したもの

注3 「瀬戸内海区」のデータは、大阪府・岡山県・広島県・香川県の面する海域及び和歌山県・徳島県・兵庫県・山口県・愛媛県・福岡県・大分県の面する海域のうち瀬戸内海側の海域における漁獲実績を積み上げたもの。

注4 「太平洋海区」のデータは、①高知県の面する海域及び②和歌山県・徳島県・愛媛県・大分県の面する海域のうちの太平洋側の海域における漁獲実績を積み上げたもの。

### ○瀬戸内海における主な魚種別漁業種類別漁業生産量及び養殖業生産量並びに生産額(平成22年)

	瀬戸内海区		太平洋南区(宮崎県を除く)	
漁業生産量 計(百トン)		1,758		1,778
魚種1位	かたくちいわし	367	さば類	343
魚種2位	しらす	366	かつお	289
魚種3位	いかなご	124	そうだかつお類	122
上位3位シェア		48.7%		42.4%
漁業種類1位	船びき網	725	中小型まき網	471
漁業種類2位	小型底びき網	454	近海まぐろはえ縄	179
漁業種類3位	中小型まき網	194	大型定置網	175
上位3位シェア		78.1%		46.4%
漁業生産額 計(百万円)		82,550		59,159
魚種1位	しらす	12,211	かつお	12,016
魚種2位	たこ類	5,595	めばち	5,732
魚種3位	いかなご	4,916	きはだ	5,638
上位3位シェア		27.5%		39.5%
養殖生産量 計(百トン)		2,618		1,085
第1位	のり類養殖	1,006	ぶり類養殖	573
第2位	ぶり類養殖	129	しまあじ養殖	19
第3位	わかめ類養殖	94	ひらめ養殖	17
養殖生産額 計(百万円)		60,744		102,428
第1位	のり類養殖	20,292	ぶり類養殖	48,430
第2位	ぶり類養殖	10,227	しまあじ養殖	2,839
第3位	まだい養殖	2,093	ひらめ養殖	1,990

資料:『平成22年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省

注5: 複数をまとめた項目(「その他の魚類養殖」等)については上記の順位から除外した。

## ○瀬戸内海の主要魚種等の生産量・生産額に関する全国シェア率について(平成22年)

		瀬戸内海区				太平洋南区(宮崎県を除く)				
		種目名	瀬戸内海区	全 国	全国シェア	種類名	太平洋南区	全 国	全国シェア	
海面漁業	生産量 (百トン)	魚種別1位	かたくちいわし	367	3,507	10.5%	さば類	343	4,918	7.0%
		魚種別2位	しらす	366	718	51.0%	かつお	289	3,029	9.5%
		魚種別3位	いかなご	124	708	17.5%	そうだかつお類	122	286	42.7%
		漁業種類1位	船びき網	725	2,407	30.1%	中小型まき網	471	4,109	11.5%
		漁業種類2位	小型底びき網	454	4,565	9.9%	近海まぐろはえ縄	179	513	34.9%
		漁業種類3位	中小型まき網	194	4,109	4.7%	大型定置網	175	2,601	6.7%
	生産額 (百万円)	魚種1位	しらす	12,211	29,072	42.0%	かつお	12,016	67,951	17.7%
		魚種2位	たこ類	5,595	18,987	29.5%	めばち	5,732	48,153	11.9%
		魚種3位	いかなご	4,916	10,551	46.6%	きはだ	5,638	41,152	13.7%
養殖漁業	生産量 (百トン)	魚種別1位	のり類養殖	1,006	3,287	30.6%	ぶり類養殖	573	1,389	41.3%
		魚種別2位	ぶり類養殖	129	1,389	9.3%	しまあじ養殖	19	28	67.9%
		魚種別3位	わかめ類養殖	94	524	17.9%	ひらめ養殖	17	40	42.5%
	生産額 (百万円)	第1位	のり類養殖	20,292	85,319	23.8%	ぶり類養殖	48,430	117,630	41.2%
		第2位	ぶり類養殖	10,227	117,630	8.7%	しまあじ養殖	2,839	4,047	70.2%
		第3位	まだい養殖	2,093	50,609	4.1%	ひらめ養殖	1,990	5,099	39.0%

資料:『平成22年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省